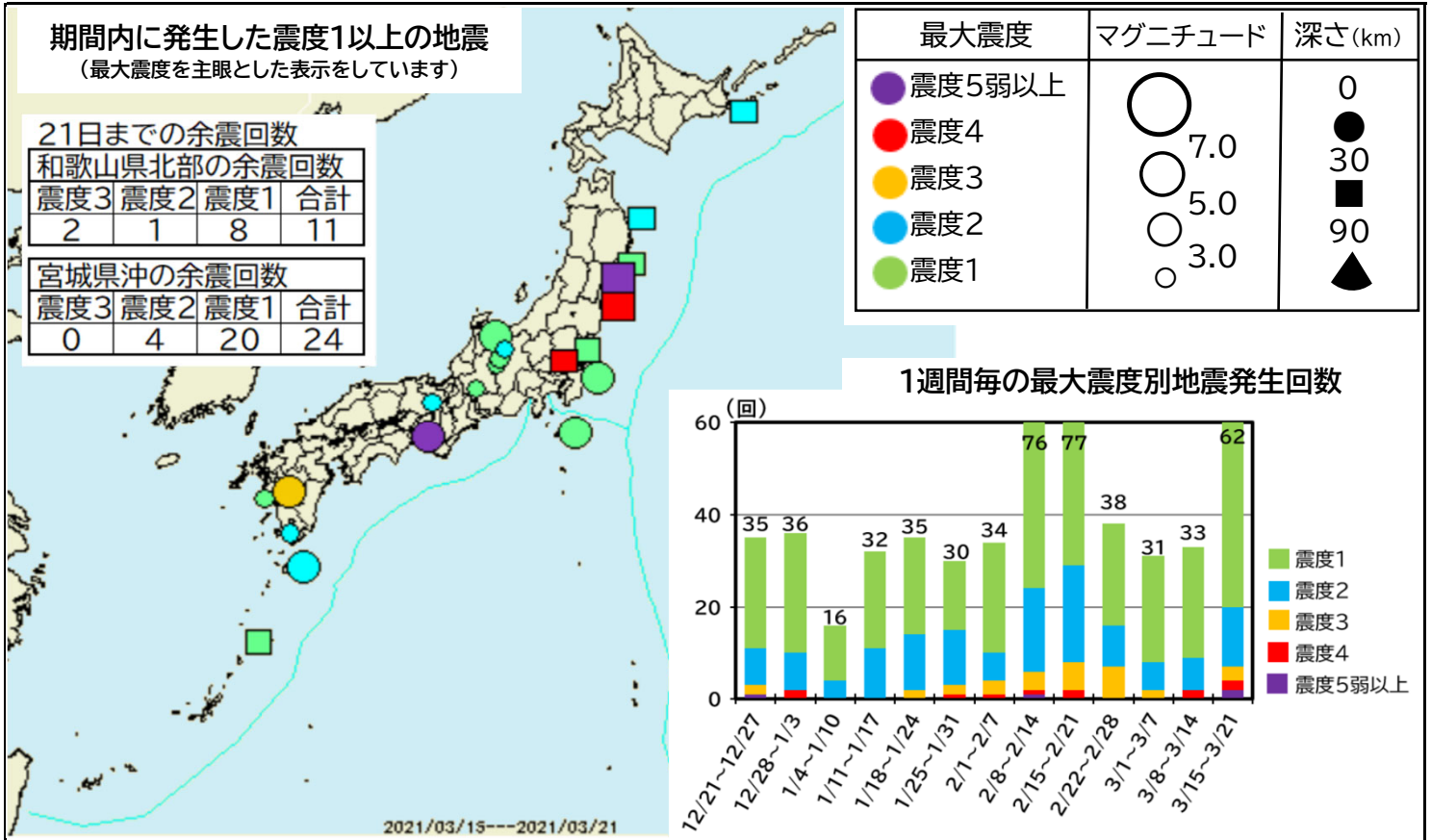


この期間の最大震度は5強(宮城県)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が62回発生。最大震度は5強(宮城県)。
- ・15日00時25分に和歌山県北部で発生した地震(M4.6、深さ4km)により、和歌山県湯浅町で震度5弱を観測したほか、和歌山県を中心に三重県から高知県にかけて震度4~1を観測。この地震は地殻内で発生した逆断層型。この地域は地震活動が活発な地域でM4程度の地震が時々発生している。21日までに震度1以上を観測した余震は、震度3が2回、震度2が1回、震度1が8回観測されている。
- ・20日18時09分に宮城県沖で発生した地震(M6.9、深さ59km)により宮城県仙台市宮城野区・石巻市・岩沼市・登米市・東松島市・大崎市などで震度5強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度5弱~1を観測。この地震は陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した逆断層型。21日までに震度1以上を観測した余震は、震度2が4回、震度1が20回観測されている(トピックス参照)。

トピックス

■ 宮城県沖の地震 ■

- ・20日18時09分に宮城県沖で発生した地震の際、当編集者は仙台市内で車を運転中であり、スマホからの緊急地震速報発表を知らせるアラーム音で地震発生を知りました。
- ・走行中であっても強風で車が横に押し出されるように感じでした(初めての経験でした)。
- ・NHKラジオは、車を運転中の方は路肩に車を停めるよう促す放送が継続され、多くの車が路肩に停車しました(当編集者もその一人)。的確な放送内容だと思いました。
- ・今回の地震では津波は発生しなかったようです。その要因は震源の深さ・M・メカニズムの関係であり、今回のような震源の深さが60km程度の深い地震の場合には、Mが7を超えると概ね津波が発生し始めるようです。
- ・今回の地震のメカニズムは2011年3月の東北地方太平洋沖地震と同じタイプですが、2月13日に福島県沖で発生した地震(M7.3、最大震度6強、小さな津波を観測した)とは異なります(図参照)。



発生場所・メカニズムの比較(模式図)

- ①2021年3月20日、宮城県沖、深さ59km、M6.9、プレート境界、逆断層型、最大震度5強
- ②2021年2月13日、福島県沖、深さ55km、M7.3、プレート内部、逆断層型、最大震度6強
- ③2011年3月11日、三陸沖、深さ24km、M9.0、プレート境界、逆断層型、最大震度7